



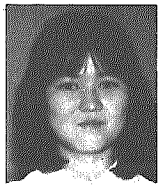
鋭い視点と感性

第六回少年の主張発表会

どうしてこんな新鮮な目で、物ごとをとらえられるのだろうか。と毎回感心してしまうのが、「少年の主張発表会」です。先月二十三日、岩室村公民館講堂で開かれた第六回大会には小学生六人、中学生六人の合計十二人が鋭い感性を発表しました。テーマは身近な家庭のことから友達そして人生感までその内容はバラエティ豊か。どの発表も力強く、三百人を超す聴衆を「ウーン」とうならせるものばかり……。今号では、子供たちの鋭い視点と感性にスポットをあて、発表者の生の声を少しひろってみました。

「人の命」

テーマは非常に抽象的なんですが、わたしたちが生きていく中で第一に考えなければならぬ大事なことだと思います。わたしは年齢的にもまだ未熟なため、「なんのために生きるのか」というところまでは正直なところ手が届きませんが、「生きる意味」について時には真剣に考えて、このすばらしい生命（人生）を有意義に一杯燃やしてみたいと思います。



石崎智恵子さん
(岩室中学校 3年)

「部活での1年生の仕事」

選んだのは、郡市大会で負けたとき、先輩たちのくやしそうな顔が強く印象に残ったからです。実は球拾いばかりやらされるばかりで、一年生は少し部活をふまじめにやっていたようです。その結果が敗戦です。どんなことでも最後まで、きちんとやる、これが自分のためにもまたほかの人のためにもなるんだ、ということがわかりました。



野球部の一年生です。このテーマを

「母に」

わたしは、母の性格と自分の性格を比べるところから考えてみました。わたしは学校でいやなことがあると、家に帰って母に八ツ当たりをする自分の性格がいやでした。その点、母はいつも明るく大らかな性格。それがとてもうれしく思っていました。わたしも母のその明るくて大らかな性格を習い、母のようにあつたかい心を持った人間になりたいと思います。



亀山真理さん
(岩室中学校 2年)

「祖母の日記」

亡くなつたおばあちゃんの日記を見て、すごく感動したんです。子供たちの世話にはならない、と自分から進んで一人暮らしを選んだおばあちゃんの日記には、「さみしい。かなしい。一人ぼっち」といった言葉が随所にみられました。それを見てわたしはお母さんたちには、そんな日記は書いてほしくないなと思いました。だからいつまでもお母さんたちを見守ってあげられるやさしい人になろうと決心しました。



菊地亜矢子さん
(岩室中学校 1年)

「ハイという言葉」

わたしは家で、素直に「ハイ」と返事をすることがありませんでした。親がどうして返事をしないのだ——と言ったことから返事というものについて考えてみました。「ハイ」という言葉は相手だけでなく、自分自身にとっても大切な言葉なんだと気づきました。それが人から信頼される「はずみ」になる言葉だったからです。大人になるにつれて、この「ハイ」という言葉（返事）が大切になってくるよな気がします。



本間葉穂子さん
(岩室中学校 2年)

前に足首を痛めてしまい、大会に出場できなかったが心配したことがありました。健康なときは、その大切さをわからずにいたのが、そのケガをきっかけに、健康で生活できることがなによりも幸せなことなんだな、とつくづく実感しました。



鈴木一くん
(和納小学校 6年)



石川なごさん
(岩室小学校 6年)

わたしは「働く」というテーマで発表しました。家が工場をやっていることもあって、家事などの手伝いをする事が多く、そんな経験から進んで何かをやるってことが本当に楽しいことだということになりました。また、家族っていうのはみんなの協力があって、はじめて一つになっているんだな、ということもわかりました。



本間美廣さん
(間瀬小学校 6年)

「友達どうしの本当の幸せ」——これがぼくが発表したテーマです。友達とケンカしたのがきっかけで、「友達とつき合っていくってどういふことなのか」といろいろ考えてみました。どんな友達でも心から仲良くつき合っていくことが自分をほじめ、その相手もそしてまわりの友達をも愉快にさせるんだな、ってことに気づきました。



山田裕くん
(和納小学校 6年)

わたしは「言葉の使い方」というテーマで発表しました。なにかにうまく使った言葉で友達を傷つけたり、逆に自分も不愉快な気分になされた経験がありました。そんなことから「言葉」ってものが、ものすごく大切で、また重要なんだ、ということが気づきました。相手を思いやった（生きた言葉）を使えるよう努力しようと思っています。



金子美子さん
(岩室小学校 6年)



小川美由紀さん
(和納小学校 6年)

「バスケットボールから」

ぼくは一年生のときからバスケットボールをやってきました。しかし、三年生になった今でも賞状というものに縁がなかったようです。一所懸命、自分ではクラブ活動がんばってきたつもりなのですが、よく考えてみると広い視野をもたなかったところに、その原因があったようです。でも一枚も賞状はもらわなかったけど「友情」という目に見えない心の賞状はたくさんもらっています。

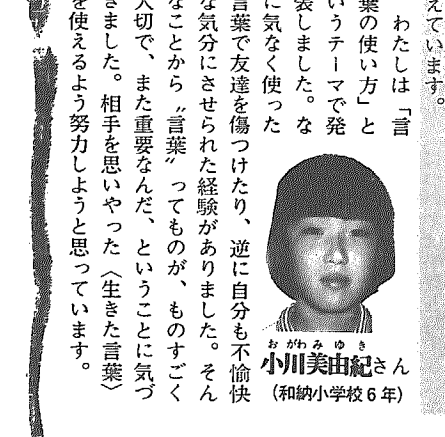


樋口猛くん
(岩室中学校 3年)



名コック登場!

和納保育園で楽しいチビッココックのカレー大会



和納保育園で楽しいチビッココックのカレー大会